



最新情報は、
HPをご覧ください

発行・編集 旭川市庁舎建設課
公共建築課
tel:25-7597

choshakensetsu@city.asahikawa.lg.jp

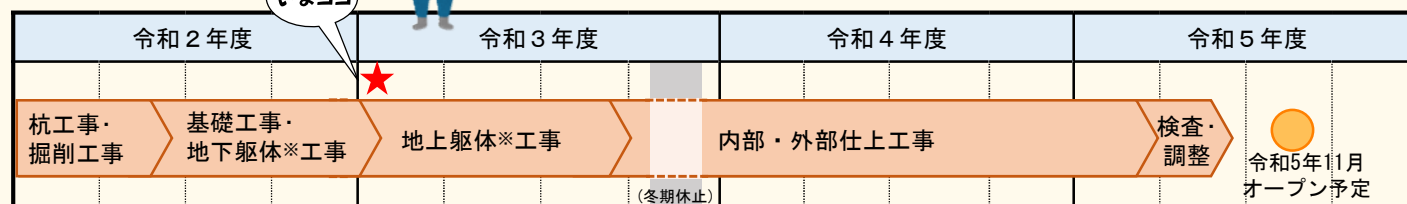
旭川市役所は、令和5年度に新庁舎へと生まれ変わります

市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。

工事の進捗



いまココ



※ 躯体(くたい)とは、柱、壁、梁、床など建物を支える骨組みのことです。

令和2年度は、安全フェンスの設置から始まり、杭工事や掘削工事のほか、基礎や地下躯体などの工事が無事完了しました。令和3年度は、大型のタワークレーンを使った地上部分の工事が始まり、柱や梁などの建物の骨格を組み上げます。今号では、今年度活躍するタワークレーンについて解説します！

令和3年4月2日



令和3年4月5日 地上約40mまで登っています

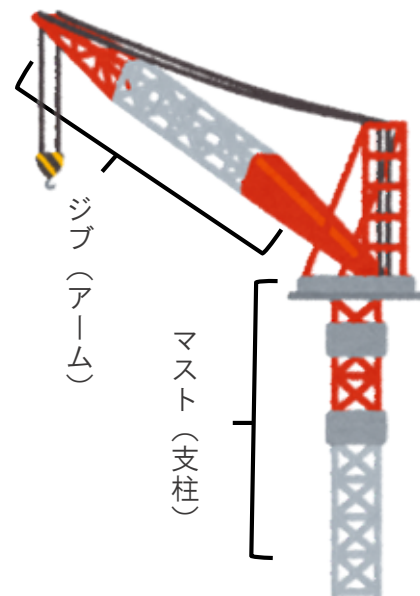


ここが運転室です。あさびーとゆっきりんが見守っています。

タワークレーン徹底解説

タワークレーンってなに？

工事現場に建築資材や重量物を搬入するクレーンの中で、高層ビルや大型建造物の建設に欠かせないのがタワークレーンです。移動式のクレーンとは異なり、工事の進捗状況に応じてマスト（支柱）を継ぎ足し、クレーン自らがマストを昇ることで、必要な高さまでクレーンを上昇させることができます。またマストで自立するため、建物の敷地が狭く重機などの設置スペースのない現場に適しています。旭川市の新庁舎建設工事では、運転室までの高さが最大53m、ジブ（アーム）の長さが45mのクレーンを使用し、令和3年4月～令和4年7月までの間、主に鉄骨の組み立て作業を行います。



タワークレーンの組み立て方



①マストを立てます



②マストの上に運転室を設置します



③ジブを取り付けます



④タワークレーン完成！

タワークレーンの上昇方法

タワークレーンの完成後、必要な高さになるまでクレーン自らマストを継ぎ足し、少しずつ昇っていきます。



①マストを継ぎ足して・・・



②油圧ジャッキが、いも虫のように伸縮しながら昇っていきます。
(1分間で約60cm上昇します)



マストの上にある運転室までどうやって上がるの？

運転室までは、マスト中央部分に設置されているハシゴを使い、自力で上がっていきます。運転室には、エアコンや簡易型のトイレが設置されており、運転室内で休憩することもできますが、お昼休みには地上に降り、食事やトイレを済ませることが多いです。

タワークレーンって倒れない？

タワークレーンは横風に弱いので、強風時には、風の影響を受けないよう、風見鳥のように風向きに合わせジブを風下に移動することで、風を受け流します。

また、マストの最下部の台座は建物の基礎としっかり固定しています。さらにマストはこれから組み立てる建物の骨組みにも固定し、万全の転倒対策を講じます。

そのほかの安全対策としては、クレーンの動作をコンピュータにより制御し、ジブの敷地外への飛び出しやつり荷の重量超過などを防いでいます。



マスト最下部の台座の様子です

工事完了後は、どうするの？

作業を終えた大型のタワークレーンは、より小型のタワークレーンを近くに組み立て、大型のタワークレーンを分解、小型のタワークレーンで地上に降ろします。

解体時に使用した小型のタワークレーンは、分解後、地上から移動式のクレーンで降ろします。

